

宇宙物理学教室 理論グループ

教授 嶺重 慎 (4号館513) shm@kusastro.kyoto-u.ac.jp
 准教授 戸谷 友則 (4号館403) totani@kusastro.kyoto-u.ac.jp
 助教 野村 英子 (4号館503) nomura@kusastro.kyoto-u.ac.jp

宇宙物理学教室理論グループでは、宇宙物理学の様々な問題に対して理論的側面からのアプローチを行なっています。研究手法は、アイデアと紙と鉛筆だけのものから、コンピュータシミュレーション、さらに時には、観測家と共同して観測計画の立案や実際に観測を行ったりと様々です。当グループのスタッフがカバーする主な分野は、ブラックホール降着円盤の活動現象、観測的宇宙論、銀河や宇宙の大規模構造の形成・進化、高エネルギー天体物理学、原始惑星系円盤・星形成領域の物理、など多岐にわたっています。

幅広い視野と柔軟な発想を持って
 理論・観測の枠を越えて活躍できる研究者を育てるのが目標です。

重力波放射 **ジェット (噴出流)** **ニュートリノ・電磁波放射**

磁場 **輻射場** **降着流**

高エネルギー粒子加速 **複雑な時間変動**

ブラックホール降着円盤の理論
 (ブラックホール×線連星
 活動銀河核 など)

超新星 (すばる望遠鏡) **宇宙ガンマ線背景放射**

ガンマ線バースト (すばる望遠鏡) **すばるFMOS** **成熟したバクテリオン振動探査**

オープンラボ (11:00-15:55)
 [場所] 4号館各所
 1. ポスターによる研究紹介 (随時)
 [場所] 4号館5階 会議室
 2. 教員によるミニ講演会
 午前の部: 11:00-12:40
 午後の部: 13:30-15:10
 [場所] 4号館4階 講義室
 3. 院生による相談会
 [場所] 4号館5階 談話室

星形成過程の理論と観測との比較